

# 30周年で情報誌に特集号

愛知ゆとりある住まい推進協議会は25日、名古屋市中区錦のホテル名古屋ガーデンパレスで「2018年度総会」を開催した。28団体

約60人が出席。17年度事業報告と18年度事業計画、予算案の承認などを行った。

冒頭、祖父江隆弘会長(愛知県建築住宅センター理事)

長が「本年度、当協議会は設立30周年を迎えた。記念

事業として、毎年作成している情報誌に特集号を加え10月に発行するほか、コンクールに記念賞を新設する計画だ」とあいさつ。「30周

年の節目を機に心を新たにし、豊かな住生活の提案啓発にさらに力を入れてい

く」と、決意を述べた。

総会に続き、リフォーム審査を経て「すまいの愛知賞」の点と佳作2点の受賞作品を選定し、表彰した。

田保健衛生大学地

域包括ケア中核センター長を務める金田嘉清氏らが

「大学による新しい地域包括ケアとまちづくりへの取り組み」をテーマ

あいさつする祖父江会長によると、「大学による新しい地域包括ケアとまちづくりへの取り組み」をテーマに語った。

「1号店の経営が軌道に乗れば、インドネシアでもヨーロッパなど、日本の店舗ども同じメニューを提供する。

ジャカルタ中心部の商業施設内のフードコートに出店した。手頃な価格帯で、家族連れをメインに幅広い客層を取り込む。イスラム教で禁じられた食材は使わず、ラーメンやソフトクリームなど、日本の店舗ども同じメニューを提供する。

「シンデレラ」「ベル」「ラプンツェル」「アリエル」「ジャスマシン」にちなんだデザインを施した。



## 着眼大局

## 着手小局

◆ 21 ◆

# もう少し、深く考えることができたら

他人とは違う、今までの自分とは違う、もう少し深い考え方を持ち、相手に伝えることができたら…と思われる方は多いのではないでしょうか。普段から見ているようなニュースや、自分が担当する仕事のところを見ても、多少の違つて、もう少し深い知識も大切ですが、一方で深く考えることも多いのではないかと、思っています。

「ア」を相手に話したり、そのような役割を担う私たちには浅く広い知識も大切な要素です。一方で深く考えることもあるので、この場面で要求されます。

アを俯瞰し、眺める。最後に、いくことが考えることだと思いついていますが、それだけでは考えをまとめる。この3つの流れが考えるときの一般的な順序です。

この作業を行うなかで、俯瞰(ふかん)し、論理的に考えていく前に、この3つの流れが考えるときの一般的な順序です。

（社）名古屋市建築住宅センターは、毎年開催する「わが家のリフォームコンクール」の表彰式を開催。

# 文章に書き時をおいて見返す

「もう一人の自分」という存在が現れただといふ経験を、お持ちの方があられると思います。これが深く考えるときの重要なポイントになります。賢明なもう一人の自分にて、頭の中にある断片的なアイデアを、メモなどの形で頭の外に出す。次に、そのアイデ

もう一人の自分を呼び出していく前に、私たちが一般的に行っている「考える」という作業を見返してみます。はじめに、あるテーマについて頭の中にある断片的なアイデアを、メモなどの形で頭の外に出すと、素晴らしい力を得め、それを読み返すと、心の

もう一人の自分を呼び出します。このときに時をおいして心を鎮め、自分の文章を眺め、そのうちに時をおいて見返す」と。これこそが、もう一人の自分に出会い新たな観点に出会うきっかけとなります。このプロセスを重要な技術として持っている

かどうか、意識できるかどうか、ということが私たち自身の深く考える力につながってい

くのではないでしょうか。  
【加藤滋樹・フレジデント】